

2019年4月

同志社大学初の海外キャンパス始動!

同志社大学チュービンゲン EU キャンパス

EU キャンパスプログラム 2019年スタート

～グローバル化の促進支援～

EBERHARD KARLS
UNIVERSITÄT
TÜBINGEN



同志社大学
Doshisha University

■チュービンゲン大学（ドイツ）と同志社大学

1990年に本学と学術交流協定を結び、現在まで学生交換を実施する他、1993年に「チュービンゲン大学同志社日本語センター（現チュービンゲン大学同志社日本研究センター）」が本学キャンパス内に設置されました。以来、毎年チュービンゲン大学の人文科学部日文学科の学生約25人が来日し、これまでに600人を超える学生が本学で修学しました。また両大学の教授・名誉教授らが参加した講演会やシンポジウムをきっかけに、人文・社会科学系の研究者による学術交流も行われるようになりました。

「同志社大学ビジョン2025」における「国際主義」の更なる深化をめざし、チュービンゲン大学内に設置した本学初の海外キャンパスであるEUキャンパスにおける教育プログラムの実施や、チュービンゲン大学との協働による研究会・セミナー・シンポジウムの開催や、教員交換の実施による教育・研究の国際的なネットワーク構築と両大学の学生に対する国際的な視野を広げる機会の提供等、あらゆる事業を進める予定です。

■EU キャンパスプログラムとは

語学研修プログラムである「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」に加えて、チュービンゲン大学人文科学部日文学科の学生との共修科目である「Intercultural Studies」、ドイツや、ヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とした「EU キャンパス特別講義」の4科目（いずれも本学における「全学共通教養教育科目」として提供）で構成される教育プログラムです。これらの科目は1セメスター（約4ヶ月間）開講、履修科目は各学部の卒業必要単位として算入されます。

このプログラムを通して、両大学の学生同士の交流と協同による相乗効果から、より高い教育効果が発揮されることが期待されます。

■奨学金制度について

同志社大学では、教育理念の一つである国際主義を体得した学生を養成するべく、正規学生を対象に、外国派遣留学を促進するための奨学金制度を設けており、EU キャンパスプログラムについても、この奨学金制度を適用することになっています。学生の視野を広げる手段としての海外留学の奨励、更には海外留学に挑戦しようとする意欲ある学生への積極的なご支援をお願いします。

■大学の所在地について

チュービンゲンは南ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州に位置する「大学町」で、人口は8万7千人のうち学生が2万7千人を占めます。よく「小さくて大きい町」といわれるチュービンゲンは様々な顔を持っており、中心部には中世の街並みが丁寧に復元されている一方、少し郊外に行くとモデルプロジェクトで開発された現代的で活気ある住宅地区があります。

■チュービンゲン大学について

1477年に設立され、同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していました。現在7学部（約335の課程）を擁し、リベラル・アーツからライフ・サイエンス等の新しい学問まで、幅広く学ぶことができます。また、マックス・プランク研究所をはじめ著名な研究施設も数多くあり、学問の地として世界的に知られています。文系学部は町の中に点在しており、町全体がまさにキャンパスになっています。

